

# 提出議案

(四)

- 一、繼續十萬突破運動ニ關スル件
- 二、工場内勞務統制ニ關スル件
- 三、解雇退職手當制定促進ニ關スル件
- 四、昇給ニ關スル件
- 五、八時間勞働制全工場ニ實施ノ件
- 六、衛生設備ニ關スル件
- 七、住宅料支給要望ニ關スル件
- 八、定備待合所設置ニ關スル件
- 九、公休ニ關スル件
- 十、健康保險法ノ改正並ニ保險組合内部負擔金ノ改正
- 十一、勞働會館建設ニ關スル件
- 十二、職工救濟會管理方法ニ關スル件

帆足勇  
奈良利雄  
越智克己  
松本寅太  
井村喜由  
山本鶴市  
西原三郎  
清末道男  
瀧口三三  
白木清三

# 一般狀況報告

大會の回を重ねる事凡に六回、其間社會狀況は著しき變化を來し殊に、一昨年之の滿洲時變から昨年之の五、一五事件を通じて、非常時代なる言葉が一般に用ひらるゝ様になつた、然し乍ら吾々勞働階級には之の非常が何も突發的に發生したとは毫も考へて居ない、即ち資本主義の矛盾より發生せる經濟恐慌は、産業を荒廢せしめ國民生活を破壊し、其の結果資本主義体制を極度に混亂動搖に陥らしめて所謂、非常時代を出現したのである。之の秋に當り現支配階級も何とか轉換策を講じなければならなくなつて、過去の様に三大既成政黨を通じて政權のタライ廻しを繰り返しては國民大衆を偽り、糊塗して居るわけにはもう行かなくなつたので、非常時の名の元に、絶對多數も其の無力を民衆の前に暴露したに過ぎない、さればこそ吾々勞働階級には、此の非常時にはもう永年の間馴されて居るのだ、殊に吾組合結成以來の五ヶ年間は、それこそ超非常時代の連續であつたのだ、亦吾々組織勞働組合の立場より五、一五事件を批判する時に、其の行動に於ては絶對的に相反するも、精神に於ては全く吾々の永年の主張と遇然一致するを見出すものである。

而して之の事件が一般大衆、並に支配階級に覺醒の促進を與へた事は確かに言ひ得ると思ふ、此所に注意すべき事は勞働運動に於ても、吾々總同盟の現實主義の覺醒を常に計り奇利を狙つて恐べき陰謀を目的とした左翼共產主義者が地下にもぐつて、今日では勞働者より離れて智識階級の有閑人に喰ひ入り、支配階級の子弟の間から其の芽を出さんとして居るのである、然し之は最早取るに足らずして全く彼等の没落を物語るものである、亦資本主義は一朝にして奇跡的に倒るものにあらず、其れを認識不足の一派は、滿洲事變を以て時こそ來れりと跳躍なし、吾々の陣營からもほんの少數であつたが、苦難なる勞働運動を逃避して之のワズツンズムに轉向したのもあつた、然し乍ら結核彼等は、今倒壞の過程にある資本主義の延命策たる其れの

(五)